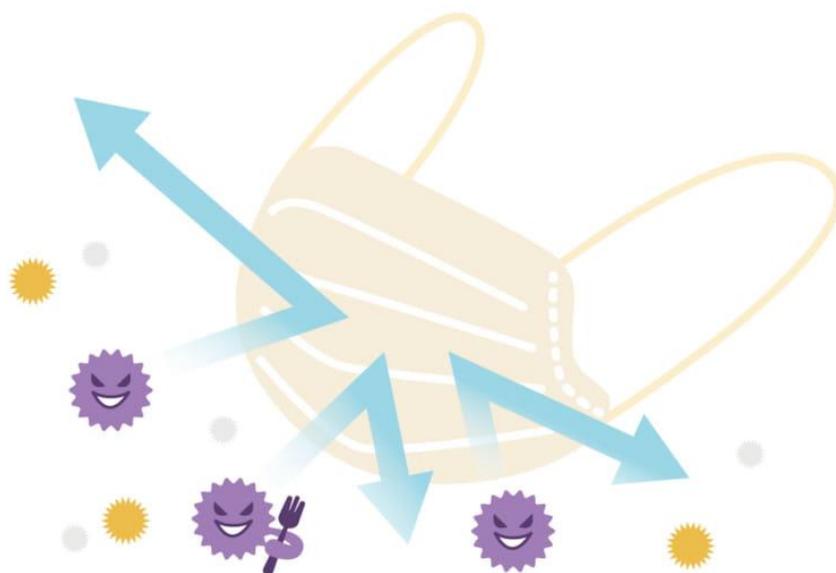


# 新型コロナウイルス感染症に伴う 事業者への影響調査 結果報告書



令和 2 年 3 月

光商工会議所・大和商工会

## 1. 調査目的

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、海外に拠点を置く企業、輸出入を行う企業、観光サービス業、観光・飲食業等、国内の幅広い業種に影響を及ぼしている。光商工会議所及び大和商工会の会員企業においても、その影響は避けられない状況である。

そこで、新型コロナウイルスの感染拡大により、実際、会員企業にどのような影響が出ているかを調査し、その調査結果をもとに、今後、より適切でタイムリーな支援策を講じることを目的としている。

### 【調査期間】

- ・令和2年3月6日（金）～16日（月）

### 【調査対象】

- ・調査依頼数：275事業所（内、大和地区 40）

### 【調査方法】

- ・アンケート方式

### 【回答企業】

- ・回答数：133事業所（回答率：48.4%）

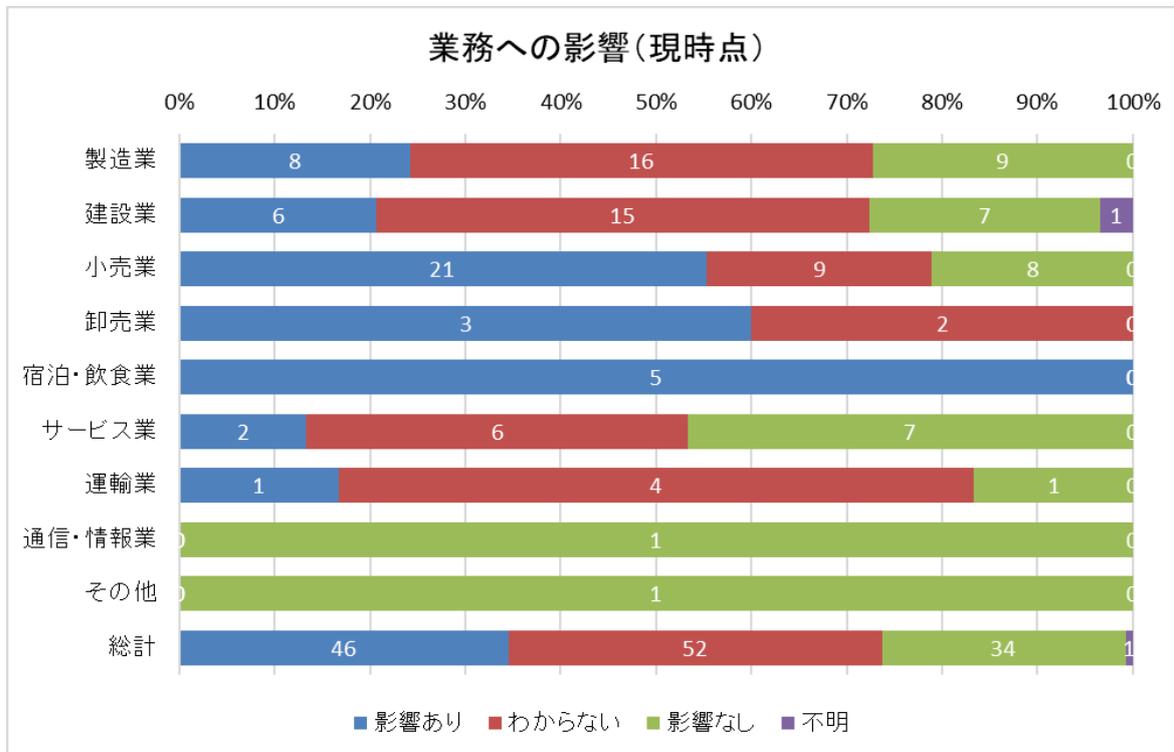
製造業	建設業	小売業	卸売業	宿泊・飲食業	サービス業	運輸業	金融・保険業	通信・情報業	その他	総計
33	29	38	5	5	15	6	0	1	1	133
24.8%	21.8%	28.6%	3.8%	3.8%	11.3%	4.5%	0.0%	0.8%	0.8%	100.0%

## 2. 調査結果

### (1) 現時点での業務への影響

新型コロナの感染拡大の影響が、現時点（令和2年3月上旬）で、自社の業務に影響があったかどうかを聞いた。

#### ①業務への影響（現時点）



総計では、「影響あり」との回答は46社34.6%、「わからない」が52社39.0%、「影響なし」が34件25.6%という結果であった。全体では、「わからない」とする企業が最も多かった。

業種別では、「影響あり」との回答割合が高い順に、「宿泊・飲食業」100%、「卸売業」60%、「小売業」55.3%であった。「宿泊・飲食業」は、回答数が少ないものの巷間言われている通り、会員企業においても、その影響は最も大きいことが分かった。

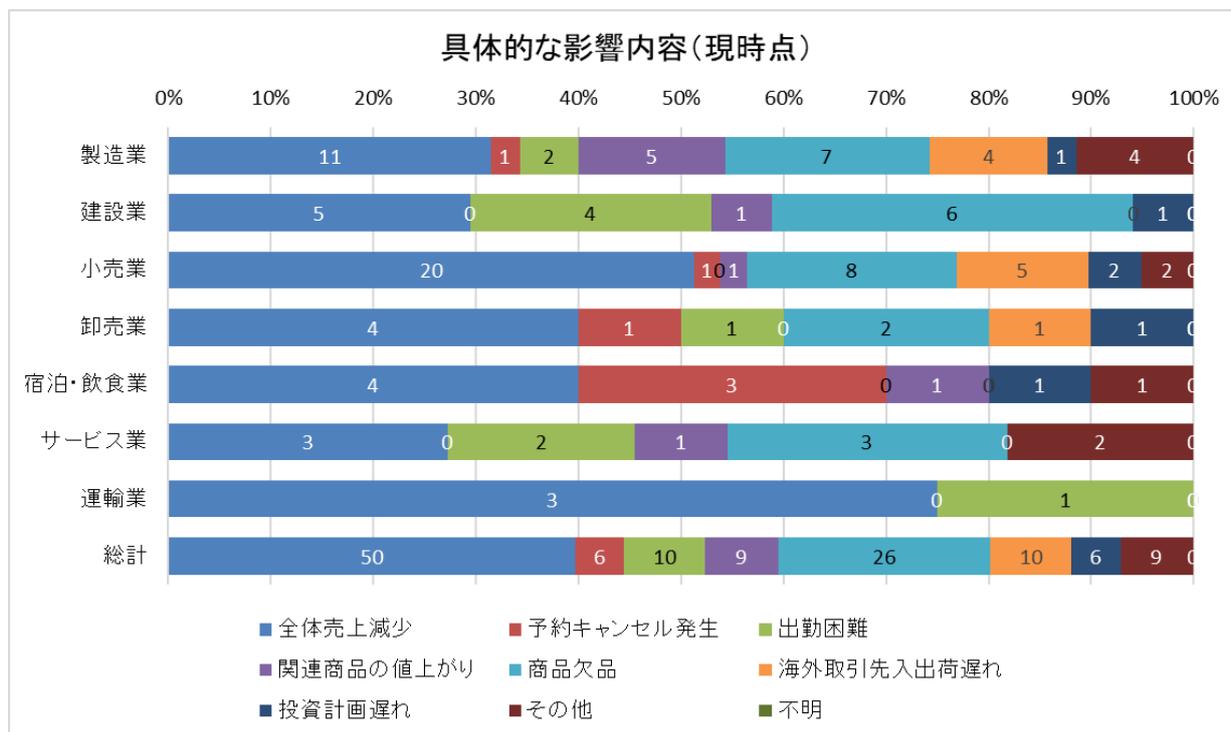
母数の少ない通信・情報業等を除き、「影響あり」との回答が最も少ないのは、サービス業の13.3%で、サービス業の46.6%は「影響なし」と答えている。

製造業や建設業、運輸業においても、「影響あり」とする回答は少なく、影響については「わからない」とする回答が多かった。

新型コロナウイルスの現時点での影響は、「宿泊・飲食業」にとっては特に深刻な問題であり、卸売業、小売業等の販売業が、それに続いて影響を受けていることが分かる。逆に、その他の業種では、深刻と言えるほどの影響を受けている企業は、現時点では少ないようである。

## ②具体的な影響内容（現時点）

次に、経営への具体的な影響内容について聞いた。（複数回答）



総計が示すように、全体では、影響ありと答えた企業のうち、50社が「全体売上の減少」と答えており、やはり売上への直接的な影響が最も多かった。次いで「商品欠品」の26社、「海外取引の入出荷の遅れ」が9社と続いた。

業種別では、回答数の少ない業種を除いて、小売業が、20社「全体売上の減少」をあげている。「宿泊・飲食業」は、「全体売上の減少」4社に加え、「予約キャンセルの発生」を3社があげており、二つを合わせると、7社となる。予約キャンセルは、直接売上に繋がるものであり、やはり、「宿泊・飲食業」が、最も収益への影響が大きいことが表れている。

製造業や建設業では、「商品欠品」とする回答が多いのが目立った。新型コロナウイルスの影響は、収益の減少が最もおおいものの、原材料の出荷停止、物流の停滞等を招いている状況も垣間見られ、直接的な影響だけでなく、企業経営の商流全体に影響を与えていると言える。

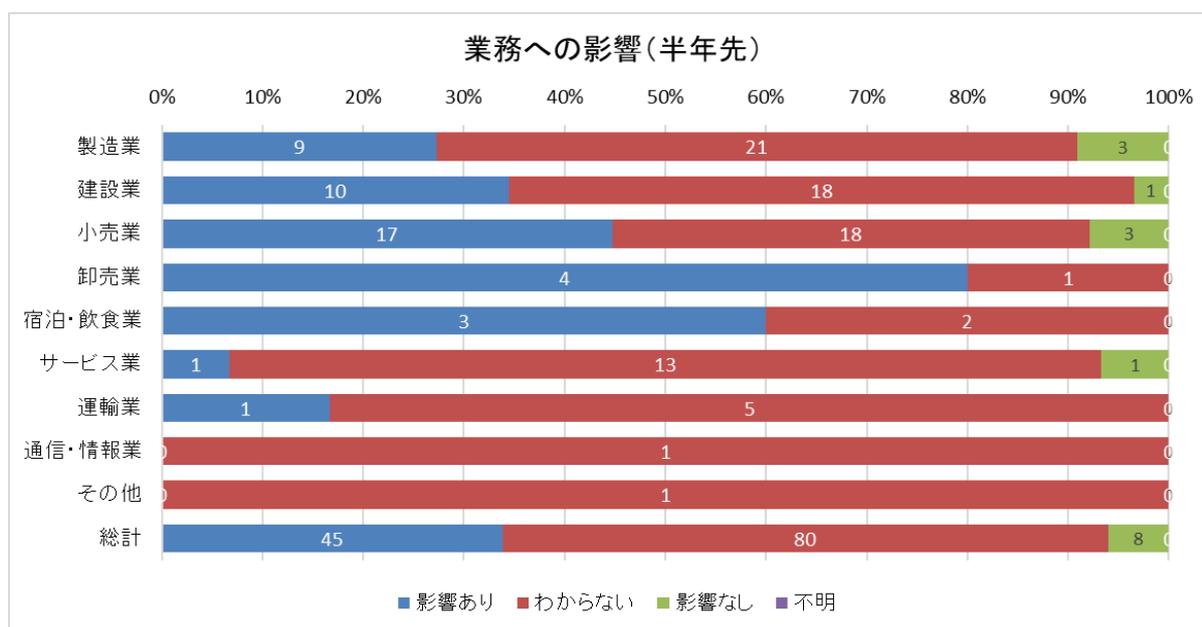
### 【その他の影響】

- ・この先どうなるか分からない不安がある。（製造業）
- ・出張減少による業務の滞りがある。（製造業）
- ・株価の急落によるマインドへの影響。（製造業）
- ・イベントの中止。（小売業）
- ・学校、スポーツ団体の活動自粛。（小売業）

## (2) 先行きでの業務への影響

### ①業務への影響（半年後）

次に半年後の影響見通しについて、同じ質問をしている。

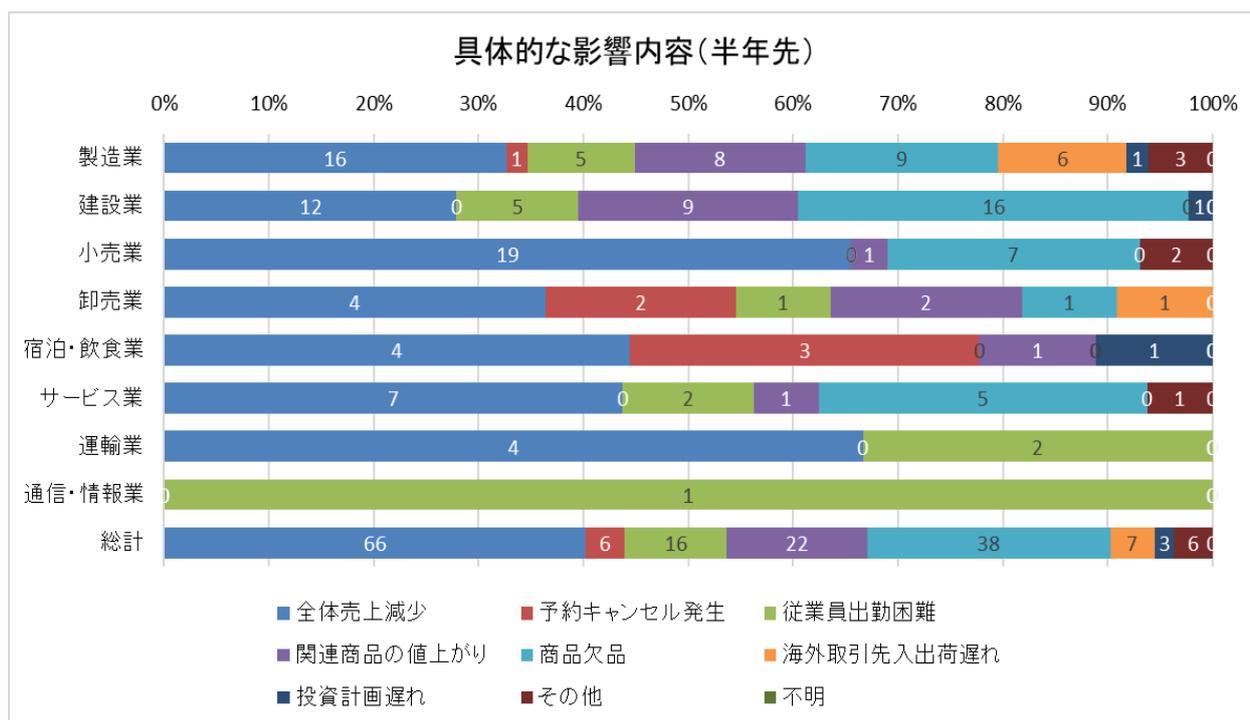


半年後に「影響あり」とする回答は、全体では、45社 33.8%、「わからない」が80社 60.2%、「影響なし」が8社 6%という結果であった。全体的には、半年後についても、全く影響ないと考えるのは少なく、何らかの影響がる、あるいは、多くの企業は見通しが立たず、不安を持っている様子が分かる。

業種別では、半年後も「影響あり」とする回答は、卸売業、宿泊・飲食業、小売業において多く、現状の影響度合いと、それほど変わりなく先行きを心配している様子が分かる。サービス業や製造業、運輸業では、「影響あり」とする回答は、他に比べると少ないようである。

## ②具体的な影響内容（半年後）

半年後の経営への具体的な影響について聞いた。（複数回答）



総計が示すとおり、「全体売上の減少」との回答が66社と最も多く、これは現時点の50社を超える回答であった。次いで「商品欠品」を上げる回答が多かった。これを見る限り、全体的には、先行きについて、現状以上に厳しい見方をしているようである。

業種別では、特筆すべきこととして、先ほど見た現時点では比較的少なかった、製造業やサービス業、建設業、運輸業においても「全体売上の減少」を上げる回答が多く見られた。小売業、卸売業、宿泊・飲食業については、現時点の回答と比べると、ほとんど違いは少なく、先行きについても変わらず厳しい見方をしていることが分かる。

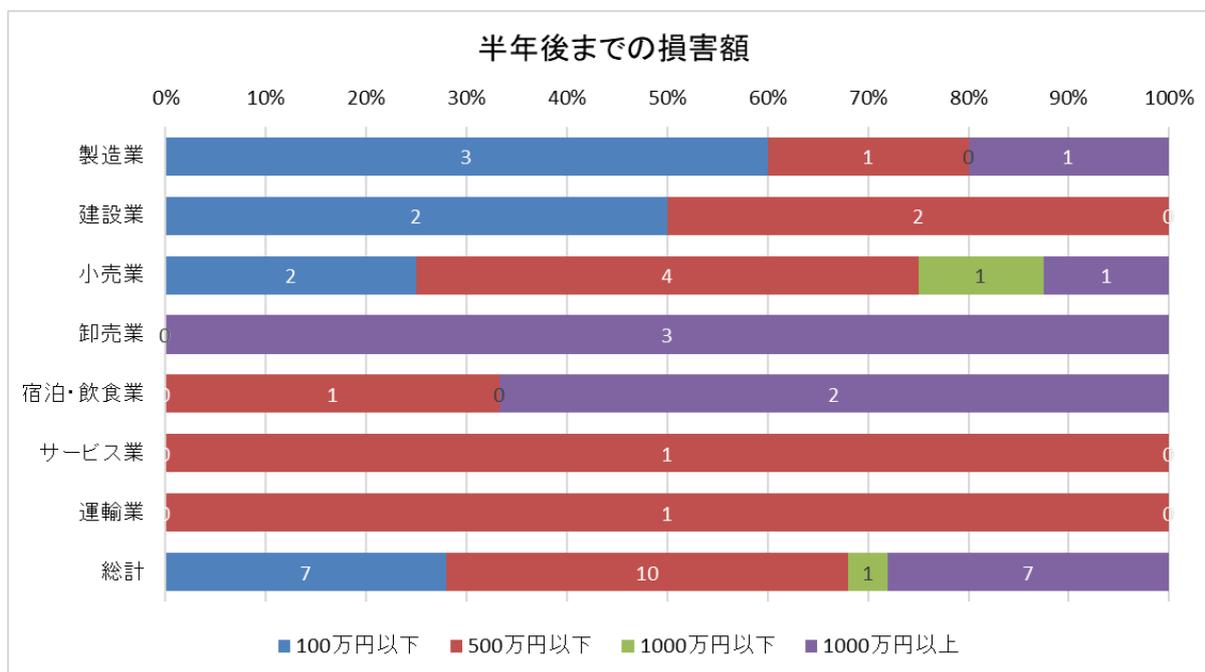
全体的に、新型コロナウイルスの影響は、先行きについても何らかの影響があるとの見方をしている、業種によっては、現時点で、さほど影響ない業種でも、先行きについては、今以上に影響してくるとの考えをしている事業者が多い。

### 【その他の影響】

- ・消費者の外出・中食・内食がどう変わるかで変わってくる。（食品製造業）
- ・イベントの中止。（小売業）
- ・顧客の来店回数減少。（その他サービス業）

### (3) 半年後までに見込まれる損害額

予想される損害額について聞いた。回答した事業者は少なかったが、その中での損害の程度が分かった。

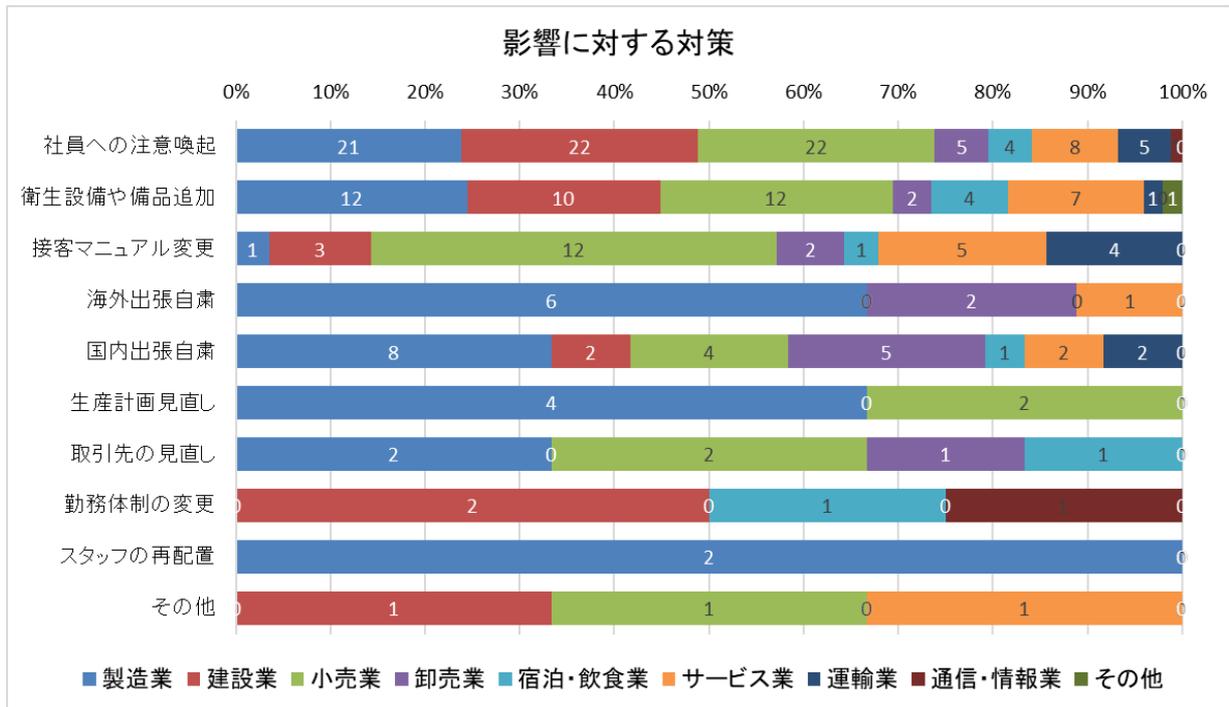


損害額については、全体では、回答のあった 25 社のうち、100 万円を超え、500 万円以下とする回答が最も多かったが、1000 万円以上とする回答も 7 社と少なくない。

業種別では、「卸売業」において、1000 万円以上の損害があるとする回答が 3 社と、最も多かった。「宿泊・飲食業」も 1000 万円以上が 2 社あった。これら二業種とも回答企業数が、5 社 3.8%と少ないにも関わらず、損害額が大きい回答をしている。「宿泊・飲食業」において、損害の甚大さが分かる。

#### (4) 影響に対する対策

コロナウイルスへの影響に対し、講じている対応策について聞いた。(複数回答)



回答数が多いのは、「社員への注意喚起」で 88 社、次いで「衛生設備や備品の追加」49 社、「接客マニュアルの変更」28 社、「国内出張の自粛」が 24 社と続いた。

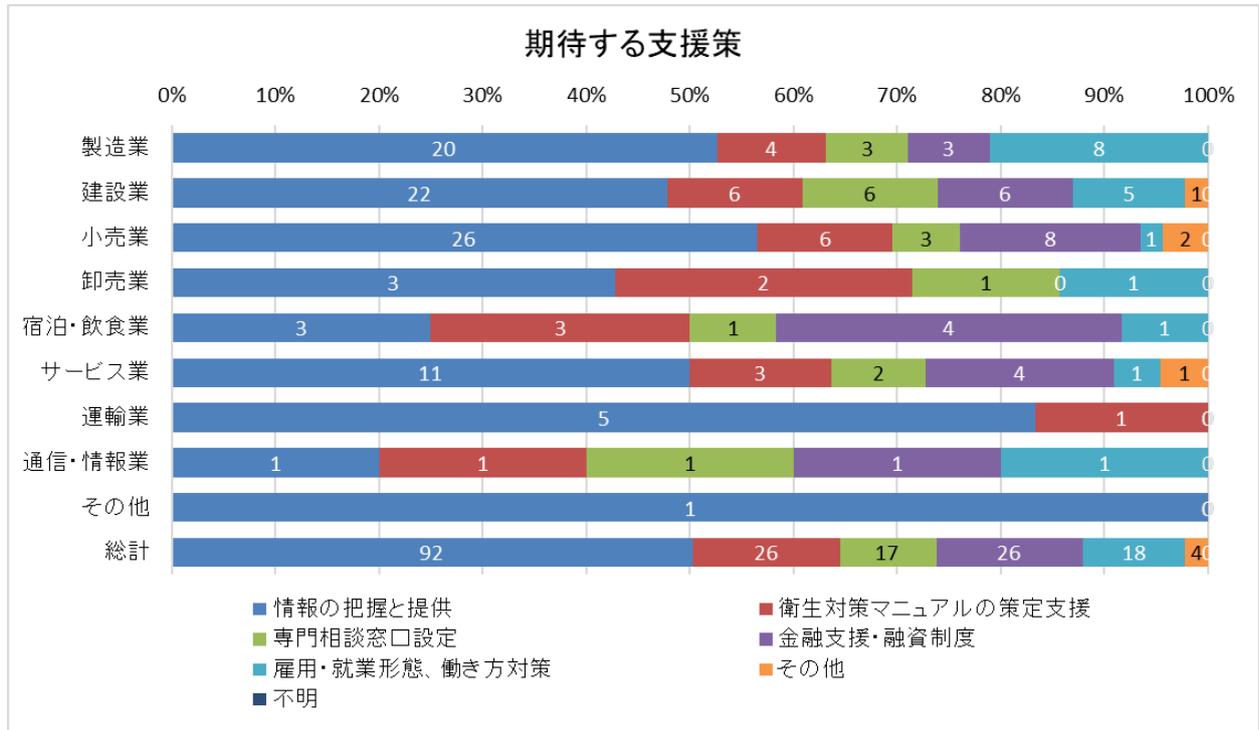
「社員への注意喚起」「衛生設備や備品の追加」は、業種を問わず多く、最もポピュラーな対応策と思われる。国内外を問わず「出張の自粛」は、業種的に製造業や卸売業において多かった。

#### 【その他の対策】

- ・会合の中止延期、TV 会議の活用。(建設業)
- ・仕入を抑える。(小売業)
- ・小さい子供がいる社員の時差勤務。(その他サービス業)

(5) 期待する支援策について

行政及び支援機関等に期待する支援策について聞いた。(複数回答)



全体では、「情報の正確な把握と提供」とする回答が 92 社と最も多かった。次いで、「衛生マニュアルの策定支援」26 社、「金融支援・融資制度」26 社と続いている。

業種別では、やはり直接的な被害が大きい「宿泊・飲食業」において、「金融支援・融資制度」を希望する回答が多く、経営の切迫度が高まっている様子が分かった。製造業では、「雇用・就業形態、働き方対策」の支援を望む声も、他と比べれば多いようである。

**【期待するその他の支援策】**

- ・マスク不足、行政に補充してほしい。(建設業)
- ・フリーランス等への支援、直接給付や減税等。(小売業)
- ・消毒液不足を補ってほしい。(小売業)
- ・消毒剤・マスク等の入手困難の解消を望む。(その他サービス業)

以上